

平成 27 年度 第 3 回小松市総合教育会議 議事録

1 日 時 平成 27 年 6 月 29 日 (月)
開会 16 時 00 分 閉会 16 時 25 分

2 会 場 小松市役所 3 階 3B 応接室

3 出席者 小松市長 和田 慎司
小松市教育委員会
教 育 長 石黒 和彦
委 員 北村 嘉章
委 員 野田 美和子【欠席】
委 員 蘆邊 千鶴子
委 員 吉原 慎吾【欠席】

(事務局関係)

総合政策部長	早松 利男
総合政策部 経営政策課長	藤井 勝司
総合政策部 経営政策課主査	太田 司
教育委員会事務局 シニアマネジャー	柿本 欣也
教育委員会事務局 教育庶務課長	唐木 和也
教育委員会事務局 教育庶務課担当課長	池田 美和子

4 討議事項 小松市教育大綱について

5 会議の経過及び発言

○開 会

○和田市長あいさつ

○討議事項

小松市教育大綱（案）について

(事務局説明【資料】)

- ・第 1 章から第 3 章まで、前回の第 2 回会議から特に変更点なし。
- ・巻末の参考資料部分に推進組織の記載があるが、7 月 1 日付け組織機構の見直しが確定したので課名等の修正・追記を行った。

〈議長：和田市長〉教育大綱は「大綱」部分と「実施計画」部分が記載されているが、どこまでを小松市教育大綱として決定・公表するのか。

(事務局) 『理念』『目標』『教育推進の地域ポリシー』までが大綱部分。また、実施計画部分にあたる『主な施策』『施策の具体』は現時点での予定。本年8月中旬に教育委員会においてアクションプランを策定し、変更があればその際修正していきたい。

〈議長：和田市長〉教育長・教育委員の皆さんのご意見はいかがか。

〈教育長〉実施計画部分は社会の状況に応じて変わりうるが、現時点ではこの内容でよいと考える。

〈北村委員〉実施計画部分は具体的なアクションプランと関係するため、『主な施策』と『施策の具体』は教育委員会で今後具体的に検討すべき。

〈蘆辺委員〉実施計画部分について大まかな方向性はこれでよい。詳細は今後教育委員会で検討していきたい。

〈議長：和田市長〉「実施計画」に基づき実施していくのは教育委員会の役割であるので、今後、学校等の意見も聞きつつアクションプランを策定していくことでよいのでは。市長として策定するのはあくまでも大綱。実施計画は大きな方向性のみとすべき。

(事務局) 「実施計画」については主な施策の概要程度とし、詳細は教育委員会のアクションプランで策定していくということはいかがか。

〈北村委員〉大綱部分はこの内容でよい。実施計画部分は『主な施策』の大項目程度に留め、細目は今後教育委員会で検討していきたい。

〈石黒教育長〉『主な施策』は『主な施策の観点』という表現でお願いしたい。観点というのは、施策を推進していくためのキーワードという意味合いである。なお、アクションプランは8月中旬に策定する。

〈議長：和田市長〉確認となるが、「理念」「目標」については「学びの道しるべ」の方針を概ね踏襲し、「教育推進の地域ポリシー」もこれまでの議論を経てご了承いただいたということでもよろしいか。そして今後、教育委員会においてアクションプランを策定する際の方向性ということで6つの「主な施策の観点」が示されているという考え方でよろしいか。

〈市長・教育長・教育委員一同〉小松市教育大綱・考え方について同意・決定。

〈議長：和田市長〉公表はどのように行う予定か。

(事務局説明) 市ホームページ, 学校等教育機関への配布, 広報等を通じて公表していく。

<北村委員> 広報でしっかり周知していただくのがよい。

<蘆辺委員> 広く市民の皆さんに周知できるため, 広報での周知がよい。

<議長:和田市長> それでは, 本日の最終討議を踏まえ, 公表案を事務局で作成し, 各委員に個別確認をさせていただくということとしたい。そのほかに何かないか。

<議長:和田市長> 組織については7月1日付けで見直しを行い, 青少年に特化した“青少年育成課”を設置した。今後の方向性について皆さんと議論していきたい。合わせて, “はつらつ学習課”も新たに設置したが, 地域と一体となって展開していくことは今後さらに重要になってくる。

<石黒教育長> 青少年育成課の役割は, 青少年の見守り・育成・環境づくりが必要と考えている。今回, 生涯学習課が青少年育成課とはつらつ学習課の2課に分かれたが, 子どもは地域で育つという社会教育の位置づけについて教育委員会でも積極的に考えていきたいと思うので, 今後ともご協力をお願いしたい。

<議長:和田市長> 少子高齢化が進むが, 長生きは良いことであり人生の達人も増えていく。そういう人たちが子どもたちと共にこれからどんな地域をつくっていくのか。植樹祭は, 市民の皆さんが自分たちの役割・力を認識された良い機会だった。教育についても地域と一体となってやっていく良いタイミングだと考える。

実施計画部分は教育委員会で十分議論のうえ策定して頂き, 今後も引き続き連携して取り組んでいきたい。

○閉 会